

## 蔵王小トリビア

### 興知学校＝蔵王小学校

明治6年（1873年）、蔵王町（昔の市村）のあった小田県（のちに岡山県に合併し、その後福山エリアは広島県へ移管）では、啓蒙所を廃止して小学校へと改称し、各小学校に番号を付けたそうです。しかし、番号では他の学区とまぎらわしい為、適宜の校名をつけて呼ぶことを命じられました。その時に、市村の小学校は「興知学校」と名付けられました。

「こうちがっこう？」「きょうちがっこう？」なんと呼んだのでしょうか。（この呼び名は短い期間だけの事だったようです。「市村史」では同時期に「広尾小学校」と称されたとのことですが、関連は不明です。）

ちなみに近隣の小学校では、引野小学校＝汎愛学校、手城小学校＝不倦学校、坪生小学校＝成章学校、東小学校＝誠意学校などと名付けられました。

出典：「福山市史 下巻（昭和53年発行）」

### 師道儀表

みなさん、☞の石碑を見たことがありますか？現在、JA 蔵王、3区集会所のとなりに設置されています。以前は、元の小学校（現在、宅地）のグラウンド西側にあり、この石碑の前が撮影スポットでした。さて、ここに大きく彫られている「師道儀表」とは何のことでしょうか？

実は、意味は教師の鑑といった意味で、「市村教育界の恩人」と言われている、土屋高三郎氏のことです。そして、額題は、かの有名な「柔道の父」加納治五郎氏によって書かれました。

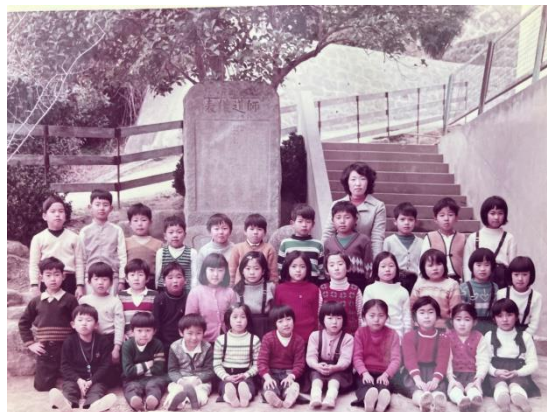
土屋氏は岡山県小田郡の生まれで、岡山県内の各学校を歴任され、市村（現蔵王）の土屋家に養子に入りました。その後は、広島県内の小学校長を務められ、最後、市村尋常高等小学校長に在職中の大正6年（1917年）8月、脳溢血で倒られました。行年52歳。市村の青年団がその死を悼み、翌大正7年にこの石碑を建てられたことが記されています。よほどの人徳のある人物であったことが分かります。



（現在の石碑）



（元の小学校グラウンド設置時 昭和38年）



（元の小学校グラウンド設置時 昭和47年頃）